

2024 年度

「神戸市中小製造業訪問調査」

最終報告書

調査期間:2024 年 6 月 14 日～2025 年 3 月 4 日

2025 年3月 15 日

特定非営利活動法人 産業人OBネット

I. 訪問調査の実施概要

1. 事業目的・内容と期間

【事業目的】

本事業は、神戸市内の中小企業を対象に、その業状や課題、行政に対する要望等、生の声を幅広く収集し、実体を把握するとともに、神戸市、神戸市産業振興財団(以下、財団)及び関係機関の支援制度の周知を行うことにより、新規施策の立案や優れたものづくり技術の発掘、支援制度の利用拡大を図ることを目的にしている。歴史的には神戸市 経済観光局 工業課が2015年度より9年継続して、特定非営利活動法人 産業人OBネットに業務委託されてきた。2024年度から委託元が財団となり、今回の目標は、昨年度以上に深掘再訪問調査を重視し、訪問企業数は80社以上、深掘りを含めた総件数は計150件とする。

【事業内容と期間】

新型コロナウイルス感染症の発生から5年目を迎え、未だ収斂しておらず11波がはびこる中、調査をした。また、経営課題の重要項目となる人員状況、最近懸念される「資材高騰」「IT並びにDX」、「カーボン・ニュートラル、脱炭素」についても昨年同様調査を行った。調査期間は、2024年6月14日のキックオフ会議から、2025年3月4日までとなった。(契約期間は2025年3月末日)

2. 調査方法及び調査体制

【調査方法】

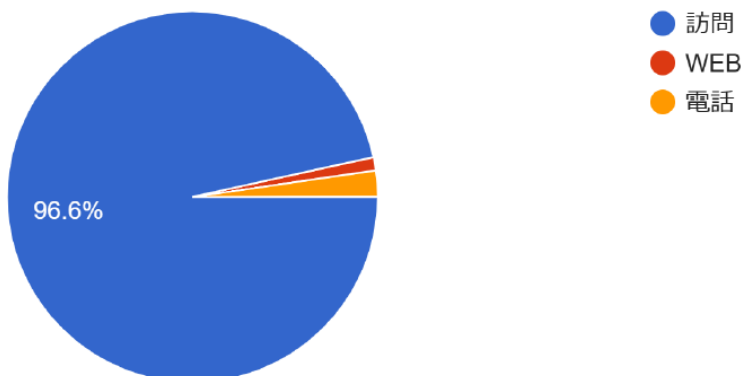
財団と共同で対象企業を抽出し、財団より訪問事業協力依頼書を発送し産業人OBネットの調査員にて当該企業に電話にてヒアリング受け入れを打診し、その受諾企業を直接訪問する。ヒアリングは、財団と共同で作成したヒアリングシート(P2、3参照)に沿って実施するとともに、可能な限り生の声を聴取する。

なお目標の80社訪問到達への調整のため、訪問事業協力依頼書を1次、2次、3次の3回に分け出状しての訪問打診となった

今回も昨年同様、電話やオンラインによる非対面方式は僅かだった。

ヒアリング方法

87件の回答



運用したヒアリングシートは、次の通りである。

令和6年度 神戸市中小製造業 ヒアリングシート

※相手方の名刺コピーを貼付すること。

担当者氏名		同行者氏名	様
ヒアリング方法	(訪問 ・ WEB ・ 電話)	整理番号	
前回訪問日		業種	

会社名				
代表者氏名		代表者役職		
所在地	〒			
会社概要	事業内容			
	主要製品			
	主要顧客			
	創業年月・年数	年 月	年 月 日	
	資本金			
	従業員数			
訪問等連絡日	令和 年 月 日	ヒアリング日	令和 年 月 日	
相手方対応者氏名		相手方対応者部署		
相手方対応者役職		ヒアリング場所		
経営状況	最近1年の業況 (前年と比べて)と今後の見通し	売上	1. 増加した 2. ほぼ変わらない 3. 減少した	
		利益	1. 増加した 2. ほぼ変わらない 3. 減少した	
		今後の事業展開 (1年後)	1. 明るい 2. 横這い 3. 暗い 4. 分からない	
		〃 (2~3年後)	1. 明るい 2. 横這い 3. 暗い 4. 分からない	
		理由	内容 (記述式)	
	自社の強み・持ち味とその活用 (得意分野など)※複数回答可	1. 人材確保・育成 2. 販路・取引先拡大 3. 後継者問題 (事業承継・M&A) 4. 設備導入・更新 5. IoT・ロボット導入 6. 技術・新商品開発 7. 成長分野への参入 8. 海外との取引 (調達・進出・生産委託など) 9. 組織・経営改善・資金計画 10. その他 具体的な内容 (記述式)		
		1. 人材確保・育成 2. 販路・取引先拡大 3. 後継者問題 (事業承継・M&A) 4. 設備導入・更新 5. IoT・ロボット導入 6. 技術・新商品開発 7. 成長分野への参入 8. 海外との取引 (調達・進出・生産委託など) 9. 組織・経営改善・資金計画 10. その他 内容 (記述式)		
	自社の弱みとその対応※複数回答可	1. 大きな影響あり 2. 多少の影響あり 3. ほぼ影響ない 4. 影響ない (1, 2の場合、次の質問)		
		1. 原油高 2. 原材料高 3. 部品供給不足 (遅れ) 4. 円安の影響 5. その他 内容 (記述式)		
	原油高、原材料高、部品供給不足、円安の影響 ※複数回答可	1. 大きな影響あり 2. 多少の影響あり 3. ほぼ影響ない 4. 影響ない (1, 2の場合、次の質問)		
1. 原油高 2. 原材料高 3. 部品供給不足 (遅れ) 4. 円安の影響 5. その他 内容 (記述式)				

人材関係	人員に関する一番の課題は？	内容（記述式）
	海外人材採用の見込み	1. あり 2. 現在ないが将来は可能性あり 3. 現在なく将来もない（見込み）
	人材に関して必要とする支援	内容（記述式）
海外ビジネス	展開中または新規展開の予定・希望	1. あり 2. なし （2の場合、次の次の質問）
	（ある場合）課題や想定される課題	内容（記述式）
	（ない場合）展開しない理由	内容（記述式）
	海外ビジネスに関して必要とする支援	内容（記述式）
IT化・デジタル化	IT化・デジタル化による業務の効率化の取り組み状況	内容（記述式）
	デジタルの導入や活用促進により、収益の向上を図りたいか	1. 希望あり 2. 希望しない 3. 分からない
	DXお助け隊、きっかけづくりお助け隊について、説明のうえ、利用希望を聞き取りたいか	1. 活用したい 2. 活用予定なし 3. 分からない （2の場合、次へ）
	（活用予定なしの場合）その理由	内容（記述式）
	IT化・デジタル化に関して必要とする支援	内容（記述式）
脱炭素	省エネや脱炭素化についての取り組み状況	内容（記述式）
	省エネや脱炭素化に関して必要とする支援	内容（記述式）
情報提供	市や市の支援機関[神戸市産業振興財団]が、今後、施策等の案内のため訪問/連絡について	1. 了解する 2. 遠慮する
その他	内容（記述式）	

【調査体制】

新型コロナウイルス感染症が収まっておらず、また、調査時期も酷暑の時期でもあり、調査員一人当たりの負担を低減するのを考慮し総勢 12 名のメンバーとし、リスクヘッジ上の観点から PM のみによる管理ではなく PM と SPM のペアによりプロジェクト管理とした。

3. 調査実績

(1) 調査およびヒアリング訪問企業

訪問事業協力依頼書の発送総数 191 社のうち、87 社に初回訪問した。

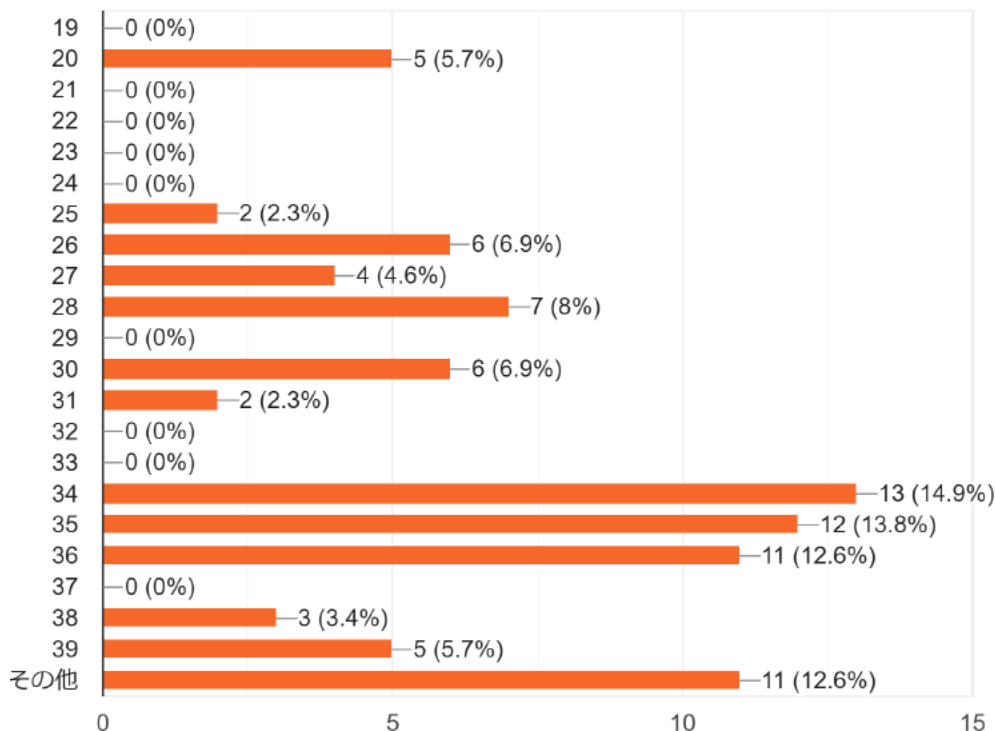
(2) 調査企業に関する情報(会社の形態・従業員規模別・業種別分析)

- ① 会社の形態については、下記のグラフより「株式会社」が 100%。昨年は有限会社と個人事業主で 40% 占めたが、今回個人事業主を対象から外したことも起因している。しかし後述のようにいわゆる **小規模事業者の比率が高い** ことに変わりはない。

会社の形態
87 件の回答



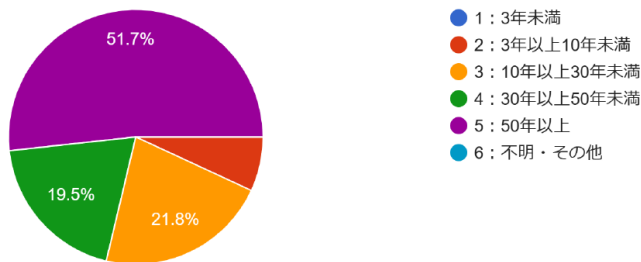
- ② 業種については、下記のグラフより「34: 金属製造」「35: 一般機械器具製造業」「36: 電気機器製造業」の順に多い。「20: 食料品・飼料、飲料製造業」は 7 位だった。



20	食料品・飼料、飲料製造業	30	ゴム製品
21	たばこ製造業	31	皮革、同製品、毛皮製造業
22	繊維工業（衣服、その他繊維製品除く）	32	窯業、土石製品製造業
23	衣服・その他繊維製品製造業	33	鉄鋼・非鉄金属製造
24	木材、木製品製造業（家具除く）	34	金属製品製造
25	家具・装備品製造業	35	一般機械器具製造業
26	パルプ・紙・紙加工品製造	36	電気機械器具製造業
27	出版、印刷、同関連産業	37	輸送用機械器具製造業
28	化学工業（化学肥料、医薬品、化粧品、塗料、火薬等）	38	精密機械、医療機械器具製造業
29	石油製品	39	その他製造業（ガラス・プラスチック、貴金属）

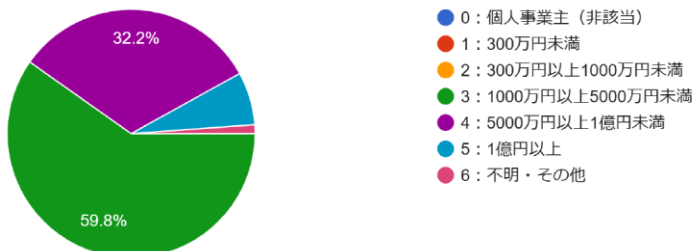
③ 調査企業の創業年数は、下記のグラフの通りで、今回も50年以上の企業が52%もある。30年以上を含めると約71%と長寿の企業が多い。

創業年数（何年目）
87件の回答



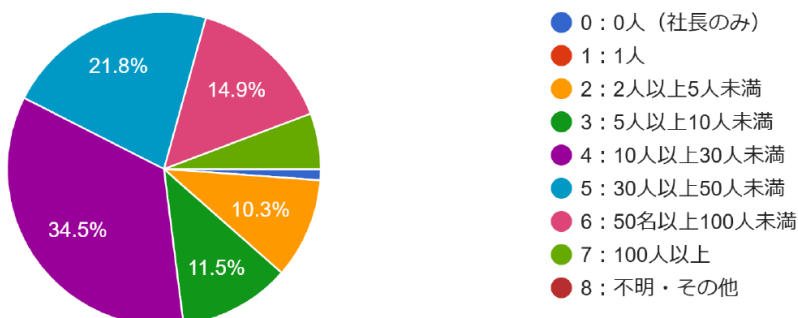
④ 資本金は、下記のグラフより「1000万円以上 5000万円未満」に集中しており約60%を占める。

資本金
87件の回答



⑤ 従業員数は、下記のグラフのように約56%が30人未満。22%以上が10人未満の企業である。

従業員数
87件の回答



II. ヒアリング結果並びに分析

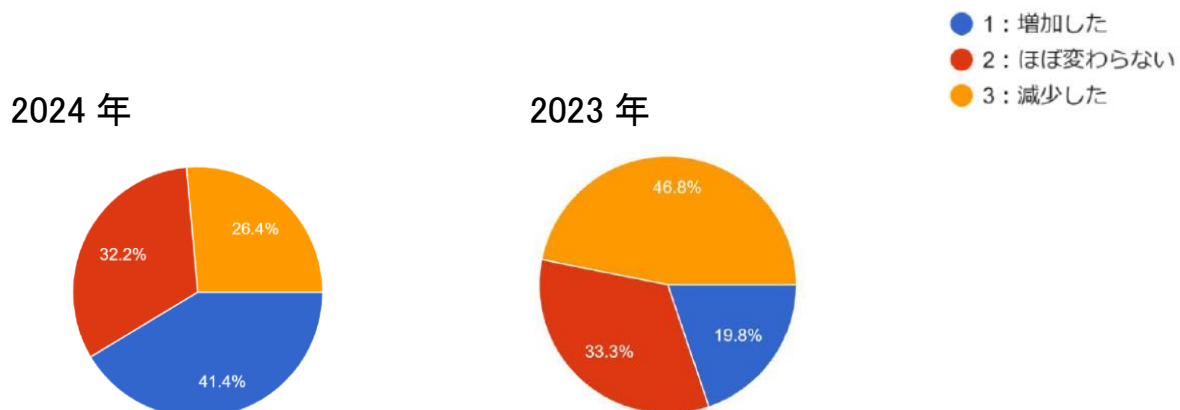
1. 経営状況

(1) 売上・利益

- ① 最近1年における売上については、下記のグラフより「1. 増加した」が約 44%と昨年より 14 ポイントも増え、景気の回復傾向をうかがわせる。



- ② 利益に関しても下記のグラフより「1. 増加した」が約 41%と昨年より 21 ポイントも上がっている。後述の原油高、原材料高の影響があるものの、全般的に売上が伸びて利益に繋がっていることを物語っている。



(2) 今後の事業展開の1年後

- ① 今後の事業展開の1年後について、下記のグラフより「1. 明るい」と「2. 横這い」とで約 63%を占め、昨年より外部環境が大きく好転していることを示している。



(3) 今後の事業展開の2～3年後

- ① 今後の事業展開の2～3年後についても「1. 明るい」と「横這い」を足すと約 59%となり、昨年より格段の伸びを示している。



② 上記の【理由】の主な要因:

1) 売上増加:

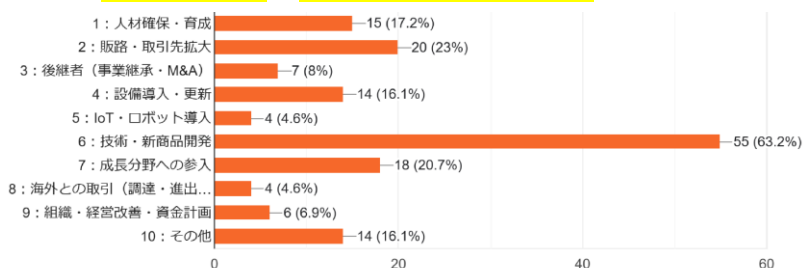
- ・コロナや半導体不足の影響で昨年度売上が落ち込んだのが平年並みに戻った(10社)
- ・新規分野(医療、半導体等)進出、新製品開発(7社)
- ・平年並みに戻って売上増加した企業も、原材料高騰の為価格転嫁が出来ず、利益減少(6社)

2) 売上減少

- ・コロナの影響がまだ尾を引いている(6社)
- ・顧客の業界の景気減衰(特に建機の落ち込み4社)の影響大。(5社)
- ・原材料高騰が売上減に繋がる(2社)

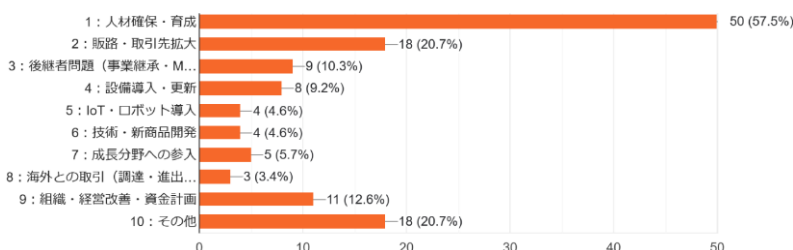
(4) 自社の強み

① 自社の強み(※複数回答可)について、次のグラフより「6: 技術・新商品開発」が特段に多い。今回の調査企業が「34: 金属製品製造」、「35: 一般機械器具製造業」が多いこととも起因していると思われる。「2: 販路拡大」「7: 成長分野への参入」も次いでおり、積極経営が感じられる。



(5) 自社の弱み(課題):

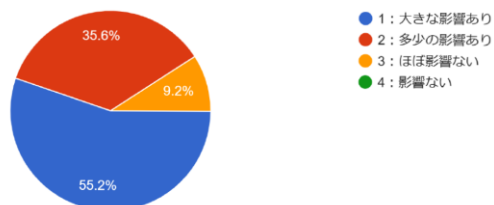
① 自社の弱み、次のグラフより「1: 人材確保」「2: 販路開拓」は例年通りだが、「9: 組織・経営改善・資金計画」が3番手に来ており、注目される。その他次は「3: 後継者問題」である。



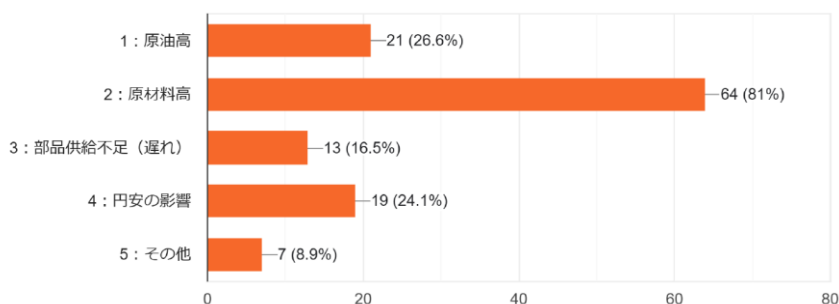
(6) 外部環境の悪化の影響

①原油高、②原材料費高騰、③部品不足、④円安等の外部環境の悪化は経営に大きな影響を及ぼしている。(約91%)

原油高、原材料高、部品供給不足、円安の影響度合い
87件の回答



主な要因は「2: **原材料高**」が群を抜いているのは昨年と変わらない。

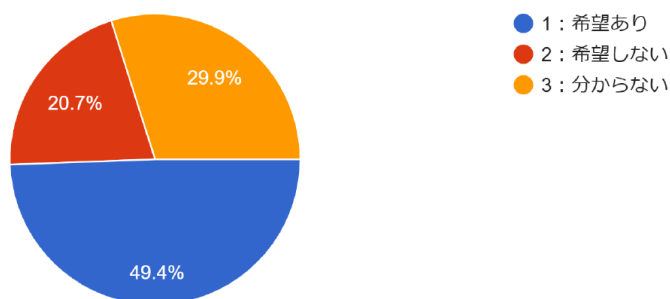


2. その他のヒアリング概要

(1) IT化、デジタル化

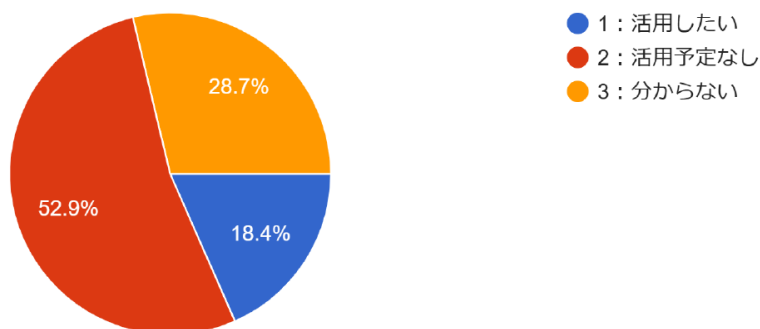
① デジタル化により収益向上を希望する企業が約49%もある。

87件の回答



② 一方でDXお助け隊への活用は少ない

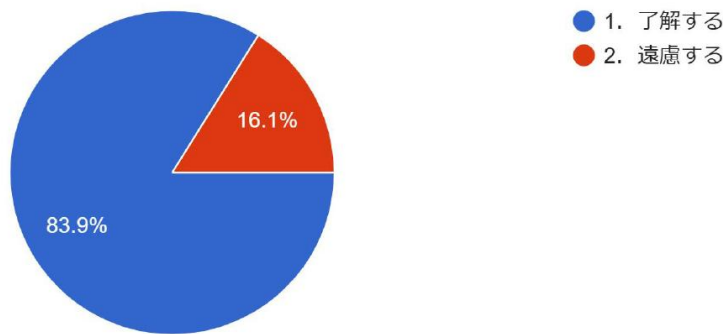
87件の回答



(2). 情報提供について

- ① 神戸市等からの情報も、多くの団体から既に提供されており、特に希望しない企業が増えている一方、引き続き神戸市からの情報提供を欲している企業も多い。

市や市の支援機関〔神戸市産業振興財団〕が、今後、施策等の案内のため訪問/連絡について
87件の回答



Ⅲ 深掘企業訪問調査

1. 今回は昨年度以上に「深掘調査」に注力して活動することになっている。

(1) 深掘調査した企業：18社

2. 深掘調査の概要

(1) DXお助け隊要請：7社、11件

(2) 事業承継：2社。うち1件100年経営支援事業利用。

(3) JICA 関西：1社。JICA 関西同行2件。

(4) その他：8社。